

1. 科目名 (単位数)	音楽 (幼) (2 単位)	3. 科目番号	SJMP1140 GELA1324						
2. 授業担当教員	赤塚 太郎								
4. 授業形態	演習, 講義, 実技	5. 開講学期	春期/秋期						
6. 履修条件・ 他科目との関係									
7. 講義概要	保育における音楽活動の指導で求められる知識, 技術を身につけ, 理解を深める。保育現場では歌唱指導はもちろん合奏指導, リズム活動など様々な音楽活動やその指導において鍵盤楽器が使用されるため, それなりの演奏技術を身につけなければならない。具体的には「音楽」では子どもの歌を歌うのに必要な発声法, ピアノ演奏技術とピアノ伴奏によって歌唱指導する能力を習得する。また, これらの技術・能力の習得のために必要な読譜や音楽のしくみに関する基礎的な知識や理論についても実践を通して学ぶ。								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な音楽理論を理解し読譜ができる。</li> <li>2. 弾き歌いをするための基本的な演奏力を身につける。</li> <li>3. 歌うための発声を習得し, 歌うことができる。</li> <li>4. 主にリズム活動に関わっていくマーチなどの演奏ができる。</li> </ol>								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コード奏に関する記譜の課題があります。提出期限を守って, 取り組みましょう。</li> <li>・授業内で扱う内容 (リズム譜, 手遊び歌, 子どもの歌の歴史, 記譜等) を, よく復習しましょう。</li> <li>・1曲でも多く弾き歌いできるように, 練習を積み重ねましょう。</li> </ul>								
10. 教科書・参考書・ 教材	教科書…以下 2 冊を用意してください。その他に必要な資料はその都度配布します。 全音楽譜出版社出版部『標準バイエルピアノ教則本』全音楽譜出版社 岡村弘ほか『これだけは歌って弾こう 子どもの歌 厳選 50 曲』共同音楽出版社, 2017。								
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な音楽理論を理解し読譜ができるか。</li> <li>2. 弾き歌いをするための基本的な演奏力を身につけたか。</li> <li>3. 歌うための発声を習得し, 歌うことができるか。</li> <li>4. 主にリズム活動に関わっていくマーチなどの演奏ができるか。 1</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>以下の点を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 ピアノ伴奏による弾き歌いの発表</td> <td>総合点の 50%</td> </tr> <tr> <td>2 基本的な音楽理論の筆記テストまたはそれにかわるレポートなど</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> </table> <p>上記のほか, 本学規定に定められている 3/4 以上の出席を単位認定の条件としている。</p>			1 ピアノ伴奏による弾き歌いの発表	総合点の 50%	2 基本的な音楽理論の筆記テストまたはそれにかわるレポートなど	総合点の 30%	3 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)	総合点の 20%
1 ピアノ伴奏による弾き歌いの発表	総合点の 50%								
2 基本的な音楽理論の筆記テストまたはそれにかわるレポートなど	総合点の 30%								
3 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)	総合点の 20%								
12. 受講生への メッセージ	ピアノ演奏や歌唱は「技術の習得」であり, 毎日の積み重ねが大切です。最も基礎的な練習の中で単調と思われる練習曲もあるかもしれませんが。またその一方で, 自分のレベルよりも高度な曲に取り組む時があるかもしれません。それら全てをきちんと習得し, 有意義な時間になることを願っています。なお, 本学の規定により 3/4 以上の出席を原則とし, 遅刻や遅延については, 累積回数が多いとそれらを認めない場合もあるので, 注意してください。								
13. オフィスアワー	授業中に通知します。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第 1 回	オリエンテーション, 音楽歴調査, 教科書解説 音楽理論①楽譜の構造, 音符と休符, 拍, リズム, 音高の理解度を確認 次回までの課題の説明	事前学習	教科書全体に目をとおす。ピアノの鍵盤や, バイエル付属の紙鍵盤を眺め, どのような音の配列・構造になっているかを確認する。						
		事後学習	音楽理論の課題と課題曲に取り組む。						
第 2 回	音楽理論②音名と階名, 音符と休符 子どもの歌① リズム譜① 記譜及び実技① 次回までの課題の説明	事前学習	教科書等を参考に, 楽譜がどのような音符や休符で書かれているかを確認する。課題曲を練習する。						
		事後学習	音名・階名・音符・休符についての課題と課題曲に取り組む。						
第 3 回	音楽理論③音名と階名, 音符と休符の続き 子どもの歌② リズム譜② 記譜及び実技② 次回までの課題の説明	事前学習	課題曲を練習する。						
		事後学習	音名と階名について, 疑問点・不明点がないか, 確認する。						
第 4 回	音楽理論④音程 (音の幅) と三和音 子どもの歌③ リズム譜③ 記譜及び実技③ 次回までの課題の説明	事前学習	三和音の仕組みについて考える。						
		事後学習	三和音の構造について復習する						

第5回	音楽理論⑤コードネームとコード奏 子どもの歌④ リズム譜④ 記譜及び実技④ 次回までの課題の説明	事前学習	コード奏について考える。
		事後学習	コードネームについて復習し、課題曲に取り組む。
第6回	音楽理論⑥長三和音（メジャーコード） 子どもの歌⑤ リズム譜⑤ 記譜及び実技⑤ 次回までの課題の説明	事前学習	長三和音（メジャーコード）の仕組みについて考える。課題曲を練習する。
		事後学習	音楽理論の課題と課題曲。
第7回	音楽理論⑦短三和音（マイナーコード） 子どもの歌⑥ リズム譜⑥ 記譜及び実技⑥ 次回までの課題の説明	事前学習	短三和音（マイナーコード）が出てくる曲に目をとおり、どのような仕組みになっているかを考える。課題曲を練習する。
		事後学習	和音の復習及び課題曲に取り組む。
第8回	音楽理論⑧転回形 子どもの歌⑦ リズム譜⑦ 記譜及び実技⑦ 次回までの課題の説明	事前学習	復習課題を完成させる。
		事後学習	コードネームに関して、疑問点がないかを確認する。
第9回	音楽理論⑨変化した伴奏形 子どもの歌⑧ リズム譜⑧ 記譜及びピアノ実技⑧ 次回までの課題の説明	事前学習	課題曲の左手の伴奏形に注目して練習する。
		事後学習	変化した伴奏形について、その効果や役割を考え、実際に弾いてみる。
第10回	音楽理論⑩音階 子どもの歌⑨ リズム譜⑨ 他の楽器に触れる① 記譜及び実技⑨ 次回までの課題の説明	事前学習	教科書等を参考にし、音階の仕組みについて考える。課題曲を練習する。
		事後学習	音階についての復習及び課題曲に取り組む。
第11回	音楽理論⑪調号、＃・♭のつく調 子どもの歌⑩ リズム譜⑩ 他の楽器に触れる② 記譜及び実技⑩ 次回までの課題の説明	事前学習	＃、♭がついている曲の譜面に目をとおり、調号が何もつかない状態と何が違うのかを考える。課題曲を練習する。
		事後学習	調号についての課題及び課題曲に取り組む。
第12回	音楽理論⑫カデンツ、総復習課題 子どもの歌⑪ リズム譜⑪ 記譜及び実技⑪ 次回までの課題の説明	事前学習	学習した音楽理論の中で、不明確な点がないかを確認する。課題曲を練習する。
		事後学習	音楽理論の総復習の課題及び課題曲に取り組む。
第13回	音楽理論「総復習課題」の解説 子どもの歌⑫ リズム譜⑫ 記譜及び実技⑫	事前学習	これまでに学習した子どもの歌についての内容をまとめる。
		事後学習	課題曲を練習する。
第14回	子どもの歌⑬ リズム譜⑬ 記譜及びピアノ実技⑬ 筆記テスト及び実技の発表①	事前学習	これまでに学んだ音楽理論の内容を整理し、各自の課題曲に取り組む。
		事後学習	発表内容をよく復習し、次週の発表に備える。
第15回	筆記テスト及び実技の発表②	事前学習	実技の課題曲に取り組む。
		事後学習	学期中に学習したことを復習し、要点をまとめる。